

リバーフロント研究所報告

第 3 号

Report of

Technology Research Institute for Riverfront Development

No. 3

1992 年 3 月

 財団法人 リバーフロント整備センター

Technology Research Center for Riverfront Development

はじめに

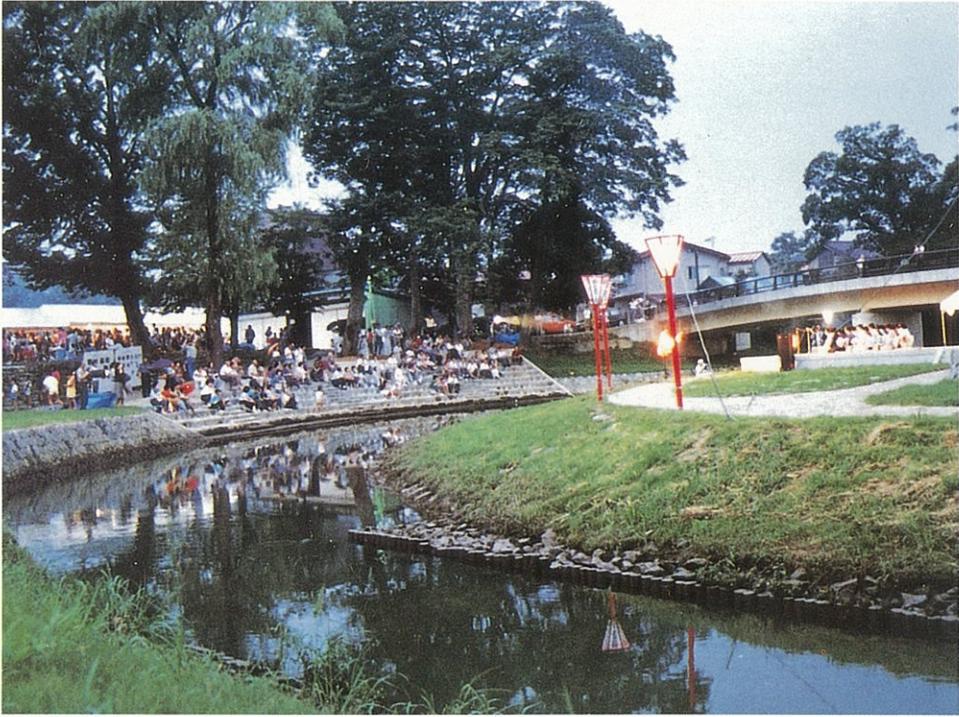
昭和62年（1987）9月1日、リバーフロント整備センター設立と同時にリバーフロント研究所を発足させ、設立目的である水辺空間のあり方に関する調査研究、水辺空間の保全と利用及び整備に関する技術開発及び調査研究、水辺空間と地域のかかわりに関する調査研究、また、それらに関する広報・普及啓発活動に積極的に取り組んできました。おかげさまで、研究活動も順調に進み、当初考えた以上の成果を挙げることができ、この研究所報告も第3号を発刊するはこびとなりました。これもひとえに建設省をはじめとして、関係各位の御指導と御支援の賜物とこの紙上を借りて厚く御礼申しあげます。

申し上げるまでもなく、最近とみに社会資本の量的な整備に加えて質的なもの—豊かで潤いのある生活環境—を創りだそうとする気運が満ちあふれています。地球環境の問題を始めとして、いたるところに環境という言葉が満ちあふれています。これらのことは、河川事業においても同様で、昨年末の「今後の河川整備はいかにあるべきか」という建設大臣の諮問に対する河川審議会の答申、本年2月に閣議了解されました第8次治水事業5ヶ年計画の中でも主要項目として大きく位置づけられていることでもよく表れています。当研究所としてもこれら国や地方公共団体の諸施策に呼応し、社会の強い要請に応えるため、当センターのスローガンである「安全で豊かなるおいのある水辺空間の保全整備」を目指して、一層精励していきたいと思っています。

本報告書は、現時点までに論文として纏まったものを、編集したものです。ご一読の上、ご指導、ご叱正を賜れば幸いです。これらのテーマについても今後さらに、広く深く研究を続けていくつもりです。また、研究所報告も、今後も年報として毎年一回発行していきたいと考えており、特定テーマとして纏まったものについては、別途その都度刊行していく予定です。今後のより一層の関係各位のご指導、ご支援をお願いする次第です。

1992年3月

財団法人リバーフロント整備センター
理事長 寺田斐夫



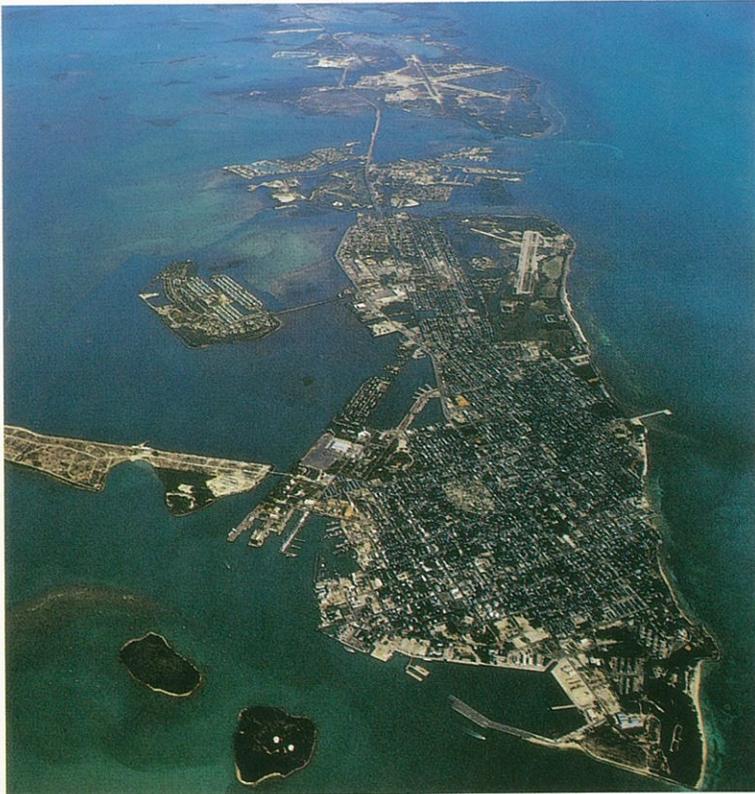
大聖寺川（石川県・加賀市）ふるさとの川モデル事業



芝川（埼玉県・川口市）ふるさとの川モデル事業



草花に覆われた緩傾斜堤防・瀬戸川（静岡県・焼津市）



キースウェスト全景

目 次

はじめに

口絵写真

1. 寄稿文	1
ドイツにおける多自然型河川づくり	
..... ドイツ・アーヘン工科大学教授 ゲルハルト・ルーベ	3
2. 論文	11
(財)リバーフロント整備センターの研究開発の現状と課題	
..... 白井顕一	13
中小河川の改修計画の新しい視点	
..... 山口 修・森田伸二・矢部昌之	26
多自然型河川工法の現況と課題	
..... 山口 修・細川庸一郎	42
河道内樹木の管理について	
..... 山口 修・矢部昌之・細川庸一郎・瀬古一郎	54
都市開発における水辺空間整備計画に関する研究	
..... 郷緒和夫・川崎光雄	77
都市整備と調和のとれた河川整備計画（水辺のマスタープラン）	
策定手法の検討（その1）	
..... 山口 修・森下碩哉・高瀬和彦	92
着衣泳の研究について	
..... 中村靖雄・神宮 保	107
親水施設の安全策について（その2）	
..... 藤井隆一・力久広行	137
河道内親水施設の設計に関する一考察	
..... 山口 修・高橋 世・森田伸二	159

桜づつみにおける植栽手法に関する研究	中村靖雄・小林範之	171
水辺空間整備手法に関する研究 (親水施設の利用面から見た評価について)	郷緒和夫・前原克二	180
長寿社会における水辺空間整備のあり方に関する研究	藤井隆一・奥山修平	193
(財)リバーフロント整備センターの情報管理システムについて	白井顕一・小林範之	207
新しい盛土施工法(急速施工法)に関する研究	白井顕一・犬束尚生・前原克二	216
海外の河川空間、河川計画と技術基準に関する研究	高木 博・奥山修平	236
3. 海外出張報告		253
マイアミビーチにおける海岸沿岸域の現状とその活用状況について	犬束尚生・前原克二	255
ヴェニスにおける水辺空間事情	高橋 世	272
4. 海外文献紹介		289
WATER AND LANDSCAPE	川崎光雄	291
5. 広 告		311
(財)リバーフロント整備センターの共同研究について		313

編集後記